

企画展

# 猫神様と養蚕展 ～やっぱり最後は猫頬み～

2019年

2020年

会期：11月26日(火)～3月21日(土)  
東京農工大学科学博物館



ご自身で撮影した猫の写真を入り口で見せると  
オリジナル絵葉書がもらえます！

さらにプリントしたものを持ってきてくださった方は  
もう一枚プレゼント。「自慢の猫」コーナーに掲示します！



※休館日：日・月・祝日

大学入試等のため年末～3月は休館日が多くなります。  
詳細はHPをご確認ください。

2019年12月26日(木)/12月28日(土)-2020年1月4日(土)  
/1月17日(金)-18日(土) 左記試験実施が不可能な場合 1月  
24日(金)-26日(日) /2月21日(金)-25日(火) /3月7日(土),  
11日(水)-12日(木)

※臨時開館日：2月2日(日)

養蚕は天候や病気の害の影響を受けやすく、まさに神頼みでした。養蚕関連資料からは度々「猫」が登場します。中国での蚕猫の風習を背景に、ネズミの害から繭や幼虫を守る意味合いかから養蚕の豊作を願う象徴として信仰されるようになったと考えられます。錦絵や護符に描かれる猫の姿をのぞいてみましょう。

## 展示概要

### 養蚕信仰と猫札



八海山鼠除  
(八海山尊神社新潟県)

### 蚕織錦絵コレクションに見る猫

#### 新田猫絵



新田猫



蚕養之全図第六



### 猫神と養蚕 MAP

#### イベント



#### 学芸員によるギャラリートーク 展示の見所を解説いたします

12月7日(土)、12月21日(土)、2月1日(土) 13:00～30分程度



#### 研究者による対談

「養蚕から見た猫神、史料からみた猫神」 3月14日(土) 13:00～14:30

講師：横山岳 東京農工大学農学部 蚕学研究室

藤原重雄 東京大学史料編纂所

カイコの神様に猫が出てくるけど、どうして？蚕学研究者の横山先生と、日本の史料における猫絵をまとめた歴史学研究者の藤原先生が対談。お二人の話を通して、人々にとって当時猫がどのような存在だったのか、思い描いてみたいと思います。

#### 企画展期間中 猫神情報・養蚕エピソード募集中

猫と養蚕に関わる資料や情報をお持ちの方はお知らせください。  
情報は猫神と養蚕 MAP に反映するほか、コミュニケーションコーナーに掲示します。



東京農工大学  
科学博物館

住所：東京都小金井市中町2-24-16 TEL042-388-7163